

Q1(1). 広島湾の今と明日に向けて(現状)				
流域も含めた広島湾(以下「広島湾」という。)の現状について、どのように思われますか。また、これからどのようになっていけばよいと思われますか。				
(ア) 森・川・海の物質循環バランスが、生物生息や人々の利用に適したレベルで持続	赤潮	感想	毎年赤潮の被害・貝毒の発生とまだまだ広島湾の汚染がひどい様に思われます。 赤潮発生、貝毒と汚染が進んでいる。	
	環境基準	感想	北部海域においては、特に大阪湾レベル(COD濃度)だということを聞き大変驚いた。環境基準点の規制が東京湾や大阪湾などの外海に向けた湾と比較して、厳しいのでは理にかなっていると思う。 瀬戸内法により、水質の改善が進み、かつての最悪の状態を脱したわけであるが、環境基準の達成率は未だに低い状態である。生物の多様性や確保するためには、環境の修復はさけておれない状態にある。 広島湾の北部海域が東京湾、伊勢湾、大阪湾より基準値目標に対してにせよ、悪い状況であることを知り、認識を新たにしました。	
	陸域負荷	感想	広島湾については、背後に大規模な工業地帯、都市をかかえている水質環境の悪い海であると認識している。便利で豊かな都市の形成とひきかえに豊かな自然を失った海であるとする。 下水道の合流改善を行わないとなかなかよくなり、また一度排出した河川や海のヘドロは下水道関係部局では対策不可能。	
		提言・提案	岡田先生の話はもっともなところと、こじつけの部分がある。背後地の工業、産業の構造や発展具合?との関係など多くの側面から分析が必要と思われる。 北部海域の再生のため、陸域部、特に太田川流域の上流部からの整備、対策が必要であると感じます。(T-P、T-N、COD、BOD、SS、DO)	
	海域水底質	感想	これほど、広島湾の環境悪化(海域汚染)が、大きいということを知りませんでした。 水質は良くなっているのか。例えば、透明度は向上しているのだろうかと疑っている。流入河川域の負荷は、減ってきているのかと思う。 河口・海底にヘドロが多すぎる。アサリが少ない。 基本的には、水質は良好であると思う。ただ、底質DOについては、他湾に比べて悪いということが認識できた。 子供の頃、海水浴場の少し沖合いに出れば、海底から怖いぐらいの海藻がゆらゆらしていた。高度成長期時代に益々川で泳げなくなった。(農薬が流れ出し、川の白砂が茶色に変色)瀬戸内海の魚が、本当に少なくなってきた。小魚(雑魚)美味しい「いりこ」も獲れていたのにその他、赤潮の発生など心配の事だらけです。川のヘドロ。 20~30年前に比べてかなりきれいになった。下水道の整備が進んだせいかな? 北部海域の水の透明度が、失われていくのを感じる。人々が、憩う場でもある海が汚れていく事は、回避しなければならない。 水質、底質についても改善、再生が必要と考えるが、人口が湾奥に集中しており、広島湾と言っても多様であると思う。 環境的には、底質が問題あり、これが、水環境へ大きく影響している。広島湾の多くが、人工護岸で企業や港湾がはりついであり、人々が気軽に海に接する場が失われている。 河川・海域の水質はまあまあ良いが、底質が悪く、底層DOが低い場所がある。カキ養殖が密に行われており、これに与える水中粒状物の濾過と排糞の影響が大きい。 太田川下流の干潟にヘドロが見えるのが悲しい。太田川橋の上で魚を釣っている人を見かけるが、魚の汚染度が気になる。 まだまだ水質が悪い。 水質・底質とも悪いので貝類がとれない。埋立が誤算と思う。 あまり、水質・底質ともキレイではない。 10年前と比べて海はきれいになったと思っていたが環境指標数値の悪さに驚いた。 ここ数年間は、少し水質が良くなっていると思っていたが、今日の基調講演で場所や指標によって違うことがわかった。 底生生物をはじめとした水産資源(多様性を含めた)の減少。NPバランスの比率がよくない(P規制のみの結果)、底質の(COD、H ₂ S)の悪化、DOの低い水塊の出現。 音戸、宮島等の観光地の水質が悪く、悪臭がしている。海が死んでいる。 下水道の普及が進む中にありながら、未だ、河口域の水質の状況は悪いと思慮する。しかし、10年~20年前の状況を考えれば、やはり改善されてきている。 水質はさほど悪くないが、過去に堆積したリン・窒素が海域環境を悪くしている。 富栄養化に伴う底層の貧酸素化が問題。目に見える上層は一見きれいに見えるが、底層(底泥も含めて)の環境は相当悪化している。	
			提言・提案	三大湾以上に、広島湾の置かれた状況の厳しさを改めた認識した。特に我々の生活の場に隣接する北部海域の状況は深刻で、一刻も早く対策が必要である。 北部海域の底泥浄化が必要。 まだまだ知られていない問題(底質土)、産業による影響を明白にしていく必要を感じた。 透明度・貧酸素の改善が必要。
			その他	埋立の影響による環境変化の現状把握と養殖かき殻の海底汚染。

Q1(1). 広島湾の今と明日に向けて(現状) 流域も含めた広島湾(以下「広島湾」という。)の現状について、どのように思われますか。また、これからどのようになっていけばよいと思われますか。			
(イ) 生物生産・生息場の再生	水産物・漁場	感想	イメージ的に「汚い」実状は、違うかも知れないけれど・・・閉鎖性海域である広島湾であるが、川が「汚い」というイメージ、貝など食べられるの？(特に底質のもの)
			魚貝類の減少が著しい。
			魚が少なくなった。昔に比べ汚れたと思うが、近年は、徐々にきれいになってきているのではないかと思う。
			私が小さい頃は、地エビ、シャコ、よなき貝、とり貝、みる貝、あさり、まて貝、メバルなどなど季節ごとに当たり前のように食卓に上がっていましたが最近ではそれらの魚介類はほとんど取られなくなり地産地消がさげられる中、海が荒れているのでしょうか。ほとんど私たちの口には入らなくなりました。明らかに広島湾は汚れていると思います。
			水質・底質とも悪いので貝類がとれない。埋立が誤算と思う。
	生態系	感想	昭和40年代～50年代に比べると、目で見た感じでは海はきれいになっているように感じます。水産物の問題もいろいろあるようです。
			現状は山口湾と同じ状態であるようです。(アサリ、藻場の減少等)
			まだおいしいカキが取れる海。
			これだけの貧酸素水塊が生じながらも、湾の最も奥で、秋になればカレイもハゼもタチウオも釣れる。カキ養殖をはじめ、生産性は高い。開発と漁獲減の時期にズレがある。地形、淡水流量から、貧酸素化は必然と思われるが。
			その他
(ウ) 人と海のつながりの回復	親近感	感想	広島湾では、昔から、海苔、かき、しじみ等の海産物の宝庫であった。また、そのための産業も栄えてきた。
			養殖場など水産物生産の場となっている海域があるが、これらを含めた生産現場としての海域という現状がある。
			海の閉鎖性の中で、生物生産活気に浄化能力がある。
			昔に比べてきれいになっている印象を持っている。但し、温暖化により、環境が変化していることも海洋の生物の変化から実感している。
			それほど死んでいるという実感はないが、健全であるともいいがたいのは事実。
	親水空間	感想	海砂・山森・埋立等などの自然変化に伴い生態系が変わり内海としてのさまざまな海としての生態系がなくなっていると思います。
			以前より少しきれいになった様 河川に魚が見られる。
			子どもの頃と比べ、生態系のバランスを失って生物の多様性がなくなっている。
			市民の生活を太田川、広島湾のつながり、市民として考える機会が少ない様に思う。一方、漁業関係者には、「生活」と観点から考える機会は、多いと思う。
			汐のおいがしない。
			浄化しにくい環境と汚泥の存在(人工海岸・藻場の減少など)で親しみにくい。水に流されないものをため込んでいく場となっている。
			親しみにくい。
			親しみが持てない。近づきにくい。
			私は、中学校まで江田島切串で育ちました。小・中学校には、プールのない時代で、学校の前の海がプール替わりでした。しかし、現在では、その姿も見られません。また、アサリも無料で沢山採れました。
			親しみが持てない。近づきにくい。水質的には、DOが悪いことが、理解できた。
			海に親しめる場所が少ないため、人々が海に関心がない。
			水に触れることが難しい海岸が多い(北部)。護岸・岸壁・カキ棚。
			干潟が少なくなった。
			泳げる場所が少ない。生カキがたべれなくなった。(SRSV、ノロウイルス対策)
			市民が、海、川で親しむ場所がなくなっています。立ち入り禁止場所が、非常に多い。
積極的に泳ぎたくない、岸壁で釣れた魚を食べたいとは思わない、といった印象。水質は悪くない岡田先生はおっしゃっていたが、スクルーで巻き上げられた時に見える水色が緑色の広島湾はきれいであるとは思わない。			
開発により環境が整った。			
30年位前までは、水清く、海水浴場も至るところにあり(干潟)魚も沢山釣れていた。			
埋立が進み、干潟や藻場などがほとんど見られなくなっている。			
単なる荷役基地でみんなが集う憩いのある場所がない。			
海岸線は道路護岸として埋め立てられ、親しむ場所ではなくなった。			
汚れた(人間が汚したが)海には近づかない。夏に楽しんだ海がない。			

Q1(1). 広島湾の今と明日に向けて(現状)			
流域も含めた広島湾(以下「広島湾」という。)の現状について、どのように思われますか。また、これからどのようにしていけばよいと思われますか。			
(ウ)人と海とのつながりの回復のつづき (「親水空間」のつづき)	その他	提言・提案	広島湾及び瀬戸内海の海水は良い状況とはいえない。生物についてもバランスがくずれていて、かつていた魚に減少し、人が泳げる場所が少なくなっている。川、森などが広域にわたった環境改善が必要だと思う。
		感想	他県の港湾と比較して見劣りする。
		その他	太田川・高瀬堰～可部線鉄橋、護岸沿いに州があり、その州がコロナプラ等で敷になっている。この敷にプラスチックシート類が花が咲いたようにぶら下がっている。
(工) 自然景観、歴史・文化などの保全再生	景観	感想	もう少し、きれいになればいいと思う。
	ゴミ	感想	水質以外にも浮遊ゴミ、海底ゴミが多い。
			海岸に漂流するゴミを見ると、海を職場にしている人々のゴミ捨て場になっているようだ。(北部地域でカキ養殖の盛んな湾内)
			浮遊ゴミ、海岸漂着ゴミ、底質等悪いと思う。
			太田川、瀬野川からのごみの流出が多すぎる。
			ごみ、油の浮遊。家庭排水の垂れ流し。
			海ゴミが多い。
	汚染・開発	感想	海岸にはたくさんゴミがたまりとても汚い。私自身はとても泳ぐ気にはなれない。透明度も大変悪い。
			かき殻、空き缶等、ゴミの体積が問題なのではないか。有機窒素が無機窒素に変わるための干潟、藻場が減少している。
			海底のゴミ等、底質の悪化が著しい。海、川が県民の日常生活から離れている(大切にしようとする意識がない)。
北部海域の汚れがひどい。			
景観	感想	こんなにきたないのでは。	
		この短期間うちに水が汚れていることに驚いている。	
		かなり汚れた海になっている。市・県民の意識が皆無であり、行政だのみである。	
その他	感想	北部海域の沿岸では海水浴を楽しんだり、釣った魚を食べる気にならない。	
		海水の汚れがひどく、浮遊物が多い。透明度も悪い。(昔は砂浜でゴカイ、本虫、たこ等が取れていた)	
(オ) その他	その他	要望	市民自らが、汚れていることも知ってほしい。埋立てだけが、海をこわしているだけでないと思う。
		感想	東京湾、大阪湾と比較して、全体的に美しい風景、豊かな海の恵みが残されていると思う。
		感想	自然の風景美がなくなりつつある。
		感想	漁業者の意見・権利が強すぎる。海ゴミに漁業廃棄物が多い。一般市民の身勝手な振る舞い。
		感想	今回のシンポジウムで基礎的な意識を得た次第です。
		感想	海浜の埋立てが、多すぎることを大にして反省をし、しっかり考えよう。
		感想	機能、資源を活かしきれないまま、喪失していると思う。
		感想	広島湾の環境特性(水質、流れ、植生)は、ほぼ調査されていて、再生実施に移る土台は、とりえず揃っている感をうけた。
		感想	20年前に比べて環境は良くなったが、本来の広島湾としての環境は、とりもどされていない。
		感想	山陰地区にくらべると相当汚れている。
感想	「広島湾」というイメージを感じない。		
感想	広島湾の現状は、場所によってかなり違う。		
感想	本来の自然な状態ではないと思う。		
感想	あまりよくない状況である。		
感想	都市部と諸島部の差が激しい。イメージを都市部の海域の改善とするとかなりきびしい。		
感想	港湾整備も進んでおりとてもいいことだと思う		
感想	かなり汚染されている。		
感想	きれいだと思うことが多くなった。		
感想	全体的に中途半端に思える。産業湾としてもあと一歩だし、汚くはないけど、きれいじゃない。		

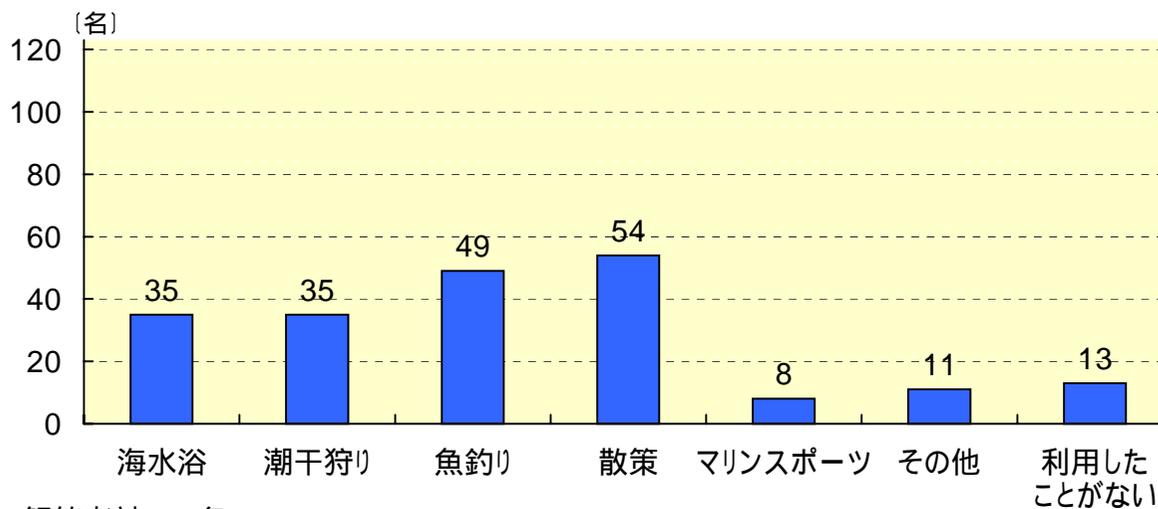
Q1(2) 広島湾の今と明日に向けて(これから)			
流域も含めた広島湾(以下「広島湾」という。)の現状について、どのように思われますか。また、これからどのようになっていけばよいと思われますか。			
(ア) 森・川・海の物質循環バランスが、生物生息や人々の利用に適したレベルで持続	水質	感想	赤潮が発生しないなど、きれいな海になればいいと思う。
			特に北部海域は、南部海域のような水質レベルに改善されればよい。
			様々な水質悪化の源は「人」に起因する。一人一人の認識を改める啓発活動こそが、重要。
			瀬戸内海レベルの水質を目標とする。
			各人、各界がそれぞれの立場で水質環境を改善すること。
			下水道等の処理施設の高度化を図り、また水洗化の促進、特定事業場等の管理を進め、各個人が海や河川をきれいにしていくという意識を持つよう活動していくことにより水質の改善は図れると考える。
	提言・提案	河川の水をきれいにする対策。始からの汚物を捨てない。	
		水質的によく、美しく豊かな広島湾であるべき。	
		水質、透明度を上げる工夫をする必要がある。	
		底質、水質共に改善の余地がある。埋立等をしない。するとしても代替の浜と同じだけつくる。	
		水質・底質の改善が必要。太田川・本川の大芝水門の閉鎖(支障のない限り)を解く。	
		岡田先生の講演にあったように底質改善は急務のように思います。関係者庁の自治体の完全なる協調、分担により一日も早い改善実行が望まれます。	
	底質	提言・提案	底質、水質共に改善の余地がある。埋立等をしない。するとしても代替の浜と同じだけ作る。
			底層の貧酸素化の改善に向けた技術開発が望まれる。
			北部海域を中心とした再生事業(下水道整備・・・富栄養化水の流入阻止、干潟・藻場再生・・・底質土壌の改善、ヘドロ等の除去、生物環境改善、生物多様化の促進)の推進が必要と感じました。
水質・底質の改善が必要。太田川・本川の大芝水門の閉鎖(支障のない限り)を解く。			
底質の改善。特に河川の影響が大きいようですので、川と一体となった改善の方向性を示す必要がある。			
一度海底環境をリセットする必要があるように思う。大規模な施策を国で実施していただきたい。			
技術開発	感想	森・川・海の循環を回復すること。	
		課題の解決への技術的発展(もどすためのコストを考慮)。	
	提言・提案	干潟をふやして、アマモ等の養生による水質浄化。	
		広島湾が良くなるためには、環境悪化のメカニズムを分析し、原因を持定することが重要だ。	
要望	入り江のようなところに蓄積しているヘドロの除去技術を開発して欲しい。委員会等はよく開かれているが、実効性のある対策を早く示して欲しい。下水道が普及してきたのにそれに反してなぜ水質が悪くなってきているのかの解明が必要。		
その他	提言・提案	閉鎖性区域(潮の干満があってもゴミがたまっている場所 - 海面坂)における排水規制と浄化技術の導入による再生。	
		負荷の軽減。 負荷の量、時期のコントロールによる持続的漁業生産(生態系モデルによる物質循環の検討)。カキ筏の配置の工夫、覆砂その他による底質改善。海へのアクセス性(親水性)を高め、住民の感心を高揚。	
	要望	自然のまま残せるような、環境作りを進めるといいと思う。特に埋め立てを作るとき、自然を取り入れて考えて欲しい。 下水道の整備を進めてほしい。	
		流入負荷整備の推進。	
(イ) 生物生産・生息場の再生	生物生産	感想	もっとおいしいカキが取れる海。
		要望	海産物を安全に美味しく安心して食せるようになってほしいです。瀬戸内の多島美をこれからもずっと楽しめる地域であってほしいです。
	生物生息	感想	広島湾の改善も含め、生物の棲める海に戻したい。
		提言・提案	可能な限り様々な生物等、環境の整備をしていく必要がある。
			河口でも泳ぐことが出来る海に再生して欲しいし、生きる生物全てが住みやすく、調和のとれた湾の再生を早く作り上げる行動に移す。
	その他	干潟・藻場が多く、生産能力が高い湾。生態系のバランスがとれた水産生物が多い場。	
	技術開発	感想	昭和30年代後半の広島湾の漁業環境になればよい。その手法を開発するのが問題。

Q1(2) 広島湾の今と明日に向けて(これから)					
流域も含めた広島湾(以下「広島湾」という。)の現状について、どのように思われますか。また、これからどのようになっていけばよいと思われますか。					
(「イ)生物生産・生態環境の再生」のつづき)	(「技術開発」のつづき)	提言・提案	きれいな海の実現に向けて、再生行動計画以上に取り組むべきである。一方で、産業促進・災害対策のための沿岸整備を欠かさないこと、整備と自然の共生の技術開発が急務。 干潟の再生。少なくとも干潟の生物調査が必要。 藻場、干潟の再生を適正な技術によって、再生する取組みが必要である。		
		(ウ) 人と海の繋がり の回復	意識向上	感想	多機多様な団体が、広島湾の再生、又は、関係する取組みを行っておられるので、さらに輪を広げていかなければと思う。 海を職場にしている人々の環境に対する意識改革するための行政の取組み(指導取組み)を期待。 自然の力では私たちが思ってる以上に再生能力があります。少し手助けと工夫、私たちの心がけ次第で元の海のように戻す事は今でも十分可能です。あらゆる人たちが団体、官民一緒になり協力し力をあわせることにより元の海に戻すべく活動を進めることやより多くの人に啓発していくことが大事だと思われます。 現状の課題等について、一般にもわかりやすいコンテンツによって広島湾の再生・保全が広く認識が広まると良いと思う。 昔と同じように、人と自然が共生できるようにするための必要性について考える機会があればいいと思う。 県産物のカキがある。琵琶湖のように太田川流域に無料で自然洗剤を配布したらと思います。 市民に出来ることがあると思うのでどんどん呼びかけていただきたいと思ひます。
				提言・提案	豊かさを限るとともに、危機的状況を告知する必要がある。そうでないと、対策事業がしにくい。(必要性を理解してもらえない) 「広島湾も随分きれいになった」という言葉を耳にする。「随分きれいになった」のはきれいになったうちではない。「自然を汚してはならない」という責任感の育成が必要。 河川や海浜に、その場所の環境数値を表示する等、市民の関心を起こし、協力を促す事が必要。 市民がもっと、海を意識して生活すべきである。 「広島湾」のネーミングが向上するPR、例えば観光、宮島、平和公園、カキ、大和ミュージアムそれに島嶼部に大きな水族館を作るなどして「広島湾」に意識を向ける必要性。 市民参加型を積極的に行い、意識改革を強める。 市民レベルからもっと「こうしたい」「こうなしてほしい」とのニーズが、出来るような取組みが必要と思う。
その他	市民が少しでも浄化再生を言うことを忘れないこと。 海をPRできるようハードソフト整備を行う。				
市民連携	要望			依然として工業、文化の第一優先されている傾向が強く、不バランスが現状では、今後が良い方向とは思わない。森川海のバランス対策、子供を期待しての取組み、科学に対する教育に力をいれて欲しい。 水産、物流といった産業面だけでなく、親水性、あるいは環境教育としての場といったことに力を入れて欲しい。	
				昭和三十年代、汐のおいがした。広島湾再生に新生したい。 海水浴が、出来るようになればいいと思う。潮干狩りが、出来るようになればいいと思う。 海及び川と親しめるようになればいいと思う。 どこでも泳げる水質と浜があればよい。 市民がより海に近づいて、現状を見ることができるようになる。問題意識を持てるようになる。 泳げる水辺空間(美しい空間)、ノロウィルス対策。 再生の目的は、色々あると考えるので、海域はもちろんであるが、湾を囲む陸域との境目で、にぎわいなどの観点から再生を図るということも必要ではないかと考える。 河口でも泳ぐことが出来る海に再生して欲しいし、生きる生物全てが住みやすく、調和のとれた湾の再生を早く作り上げる行動に移す。 子どもたちを安心して泳がせることのできる海にしたい。生物が安心して生きていける透明度の高い海を再生したい。	
親水空間	感想			とりあえず、あさがたくさん生息できる環境になって欲しい。みんなが、本物の現状を知るべきである。(小、中、高生に学校で教えるなど) 川端、海端に散歩道、サイクルロードが求められます。行政へのアピールも必要です。 水質浄化と藻場・干潟の再生等で親しみやすい場としていくことが必要。 埋立地等海浜がもっと緑化されればよい。 干潟・藻場の再生が必要。 親しみのある施設を作り広島港を憩いのある港にすることが必要だと思ひます。 昔のように貝掘りのできる干潟等の開発を・・・。 もっと開放すべきではないか。 海への有料道路を無料とする。 広島ベイブリッジ 呉への有料道路。	
				提言・提案	

Q1(2). 広島湾の今と明日に向けて(これから)			
流域も含めた広島湾(以下「広島湾」という。)の現状について、どのように思われますか。また、これからどのようになっていけばよいと思われますか。			
(「(ウ)人と海との繋がり の回復」のつづき)	(「親水空間」 のつづき)	要望	水産、物流といった産業面だけでなく、親水性、あるいは環境教育としての場といったことに力を入れて欲しい。 本当に身近に暮らし向き合った広島湾になってほしい。 一般の市民が多く集まるような施設をつくりもっと身近に海と接するようにして欲しい。
		その他	水を親しめる海岸へ。 親しめる海、きれいな海。 どこでも水に入る気になる様な、美しい海と浜。 白砂の造成。 遊びに行ける海・干潟を作る。楽しめる海を作る。
(工) 自然景観、歴史・文化 などの保全再生	自然景観等	感想	市民と広島湾の関わりは、単に水がきれいということだけでなく、食料・観光・流通などいろいろな関わりがあると思います。海に行った時、ゴミが浮いているとがっかりするので、見た目にも美しくあってほしいと思う。
		提言・提案	浄化して魚種も多くなる様にして世界に誇れる景勝を活かして、地域の活性化を行い観光地としていくべき。 埋立ては、もういらぬ。埋め立てた場所には、その面積の30%位は、森を作るよう(植林)。
		要望	海産物を安全に美味しく安心して食せるようになってほしいです。瀬戸内の多島美をこれからもずっと楽しめる地域であってほしいです。
	ゴミ削減	感想	ゴミは出さないように。 市民と広島湾の関わりは、単に水がきれい、ということだけでなく、食料・観光・流通などいろいろな関わりがあると思います。海に行った時、ゴミが浮いているとがっかりするので、見た目にも美しくあってほしいと思う。
		提言・提案	発生ゴミの処理の仕方の徹底が必要ではないか。住民、企業、漁協、行政等など管理が必要。 河川からのごみの流出を防ぐ対策が必要。 海ゴミを流域や海域から出さない仕組みをつくっていくことが必要。 現状の藻場、干潟を大切に、ゴミ、有機物をいかに効率よく回収するか検討する必要があるのでは。 海、川はみんなのもの。ひいては、自分のもの。という意識で、ゴミを捨てないなど、極小さなことを行っていく。
		要望	平和都市の玄関として又は物流の拠点としての整備が欲しい。
E)その他	その他	感想	生活部と産業活動を分けざるをえないのでは、その中でトータルで再生できればよい。 再生する必要がある。 ゆっくりと再生していただきたい。 広島が元気で魅力ある町であるためには広島湾がもっと活気ある利用度の高い港であることが必要である。自然再生、保全はバランスが大事だと思う。 ‘何に対してもよい’となればよいと思う。しかし、これは不可能である。何かにかたよったよい広島湾にならなければ、良いとおもいます。 現状にそった対応が必要である。特にアサリが沢山獲れた頃の湾に戻すことは、不可能であると考えているので、新たな方法を探っていく必要があると思われる。 水質等、環境問題にもっと前向きに取り組まなければならない。 きれいになっていけばいいと思います。 現状を保全していく。 物流との関係があり、再生はむずかしいのではないかと、埋立も出てくるのではないかと。
		提言・提案	30年前の海へ復元する必要がある。 海環境について行政は積極的に情報を発信していくべき(水環境の推進等)。 各省の適正利用。自然にやさしい漁具利用の法制化。 北部海域を重点に再生するべきである。 きれいな海の実現に向けて、再生行動計画以上に取り組むべきである。一方で、産業促進・災害対策のための沿岸整備を欠かせないこと、整備と自然の共生の技術開発が急務。 これ以上悪くならないように監視するから時間をかけて再生していくべき。 再生目標をたて行動していくべき。

Q1(2). 広島湾の今と明日に向けて(これから)			
流域も含めた広島湾(以下「広島湾」という。)の現状について、どのように思われますか。また、これからどのようになっていけばよいと思われますか。			
('E)その他,のつづき)	('その他,のつづき)	要望	広島湾の各所で豊かな自然を取り戻す取組みがなされているようで、注目していきたい。都市事業の更なる発展と、自然の回復は、ともに進めていくのは困難だと思う。しかし、産学官民の共同でともに良い方向に進んでいくことを期待する。
			瀬戸内海は、沿岸部に産業地域が集中しているため、今後は、益々広島湾の埋立て等が、進んでいくと思われる。埋立てをすることを禁止するのではなく、埋立てをしても環境に影響を与えないような手法を実現させて欲しい(規制なども含む)。
			広島湾再生推進会議で活発に活動し、再生してもらいたい。
			より一層の研究、保全を望む。
			閉鎖水域であり、「瀬戸内海の中の入海」 太田川との陸海 - 域の水系 こういう特徴をしっかり踏まえて欲しい。
			水質浄化シンポジウムで大いに参考になりました。具体的に各ポイントと全体の関連について色々知りたいです。
		その他	昔と今のよさを残した未来へ、次世代への胸を張って紹介する海岸。
			広島湾の何をするのか、自然に循環を大切にすることか。
			これらが再生し上手に人間生活と共生できる様になる。

Q2. 広島湾(海岸部を含む)をどのように利用されていますか。該当するものに をしてください。						
ア. 海水浴	イ. 潮干狩り	ウ. 魚釣り	エ. 散策 (ジョギング等含む)	オ. マリンスポーツ (サーフィン、ダイビング、 ボートセーリング等)	カ. その他	キ. 利用したことがない
35 [名]	35 [名]	49 [名]	54 [名]	8 [名]	11 [名] ・実家が海の前に建っている のでいつも海とは接しています ・フェリーボートで海を楽しむ ・デート ・周防大島で生まれ育った ・通行 ・景観眺望、海浜等での水との 接触 ・クルージング・ドライブ ・見る ・観光 ・漁業 ・その他	13 [名]



解答者計123名

Q3 広島湾再生の実現に向けて
 広島湾再生の実現に向けて、あなたならどのような形で関わっていききたいと思われませんか。

A) NPO・市民活動	市民による水域環境の保全活動に参加。
	草の根運動的な活動。
	森-川-海のつながりが、大切。植林のためのボランティアなど。
	森、川、海を通じたボランティア活動。
	川、海の清掃活動に積極的に参加したい。
	海、海岸の清掃を企業、団体単位でボランティアとして参加させる。生活している一人一人が、意識を持っただけで、大きく変わると思われる。
	海岸のゴミひろい。河川へのゴミ投げすて防止。
	現在海浜清掃活動を行なっている。
	海岸の美化活動、干潟の生物調査。
	海岸に漂着するゴミの清掃作業に参加(ボランティア) 河川にもゴミを捨てない。(下水道処理は、整備されている故、生活排水は、海に直接流していない)
	海岸のゴミ拾い活動を職場の者で行っている。
	海浜清掃などボランティア活動への参加。
	できることがあれば、ボランティア参加(清掃・観察等)。
	ボランティア等で参加できるものがあれば参加していききたい。
	ボランティア等について参加できればと思います。
	瀬戸内里海振興会などのNPOに参加して、直接海にも触れながら再生に関わってみたい。
	直接的に仕事では関わっていないので、市民活動等に参加できたらいいなと感じた。
	地域住民をまきこんだ形での再生が必要だと思う。地域住民の一人として(NPOメンバー)参加したい。(色々な改善策は提案されているが、実証の場が少ないと思う。呉の実証実験の場を最大限生かしてもらいたい。
	広島市環境サポーターとして監視等の定期的な実施。
	今後策定される行動計画に沿った活動をされる組織に加わって何らかの関わりを持ちたいと考える。(個人としての活動には限界あり)
NPOに参加。	
NPO活動に参加してみたい。	
NPOでの活動になるのではないかな。	
市民が集える浜(干潟)の造成が必要である。市民レベルで尽力したい。	
B) 研究・技術開発	水質の保全。
	海浜、海底清掃、陸上からのN,Pの負荷を魚介類を通じてマイナス汚染負荷(循環型社会)。
	個人的な研究成果や経験に基づく情報を提供する形で関わっていききたい。
	赤潮に関心あり。
	干潮の再生。
	藻場、干潟の再生に協力していききたい。
	藻場・干潟の再生に向けてできるところから協力したい。
	環境改善の為、アマモ等の養生と積極的に提言していききたい。
	再生技術。(水質浄化、底質改善)
	水質浄化について参加したいと思います。
	物質循環等定量的研究。底質改善技術の開発。
	ヘド除去技術開発。下水道の普及、下水処理の高度化によって水質浄化に貢献したいが、下水道が整備される前より水質が悪くなっていると聞くと本当に下水道整備は効果があるのか疑問に思う。
	開発と自然の共生を図る。

Q3 広島湾再生の実現に向けて 広島湾再生の実現に向けて、あなたならどのような形で関わっていききたいと思われませんか。	
C) 環境教育・情報提供	積極的な水利用と産物のPR、来訪者への紹介。
	他地区での自然再生に係わる関係で、情報交換。
	港の現状として内陸部あるいは沿岸部の利用者・生産者等の理解を得ることが大事であり、強化指導に当たりたい。社会全体の認識アップを！！
	環境教育などといった、水と触れ合える機会の提供。干潟、浅場、藻場の造成。
	小さな協力をしているものですが、年に8回以上海岸の掃除していますが、ゴミは増えています。人間教育しなかり再生は不可能と思いますが、しかし、なんとかしないと次世代まで続くでしょう。海の行事をする前に清掃して利用していますが、その中でカキイカダに使用されているエンビパイプ(2cm, 20cm)が、多くなんとかしたいです。1本改集すれば、10銭程度業者よりだすなり、対策を考えてください。カキが、高くなってもやもえない。子供達にも掃除させたい。何でも対策して望ましい海島にも大切と思う。
	できるだけ多くの市民が係るような環境意識の向上を図る。
	汚れの原因を出さない工夫。実際に海と触れ合う。(海水浴・魚釣り・散歩等)により、海を感じる。
	当シンポジウム等の参加によって、関わられることを摸索していきたいと思っています。私としては、教育(特に子どもたちへ)の充実が大きなポイントになってくものと考えています。
	建設技術者として、NPO法人会員として児童学習の指導。
	環境教育活動。消費者・市民代表からの意見を取り入れた海の再生計画を考える。
D) 日常生活	私の出来ることは、海にゴミを捨てないこと。
	ゴミを川に捨てない。
	ゴミを河海水域から排除する(捨てずに拾う)。日常生活に於いて、環境負荷を極力、圧縮する。
	ゴミを出すときに分別化を一層努めたいと思います。
	ゴミを捨てない。埋立の反対。
	ゴミを出さない。下水道の利用を考えていくなど家庭や個人でできることから関わっていききたい。
	ゴミの不法投棄をしない。
	身近なところからリサイクル、環境にやさしい生活を送っていききたいです。[直接的に大きな何かに貢献は、出来ないかも知れませんが、間接的に小さな心がけから日常の一部として関われば良いと思います。]
	上流負荷を少しでも減らす努力をしたい。
	河川浄化＝広島湾が再生する一つの方策かな？個人的には、河・海を汚さないといったところでしょうか。
	生活排水の汚れ防止・太田川の支流に森を再生・洗剤の使用量の減少・洗剤の良質なものを選ぶ。・ゴミ、特に生ゴミの投捨防止。(都市部では、ゴミ処理がうまくいっているが、島嶼部では、住民の意識が低すぎる。)
	生活排水を今以上出さない、流さない。
	生活排水の負荷軽減。
	生活排水に少しでも気をつける人々が繰り返し使うことを心得る。
	家庭排水にEM菌を混ぜる。
	一市民として、再生事業に参加する機会はありませんが、広島湾の富栄養化の最大の要因である生活排水の低減になどに協力することは出来ると思います。
	そそく川・森の再生による、注ぐ河川の水質の良化と生活水処理改善へのアプローチ。
	家庭の主婦としての私は広島湾に対して大きな関わりはありませんが、家庭から流れる洗剤・油・ごみ等、排水口の先には海が有るということを忘れずに出来ることから実行していききたいと思います。
	河川の水質をきれいにする対策。魚釣りの方の「まきえ」をしないように。
	環境問題について日頃から考えた生活をしていきたい。
広島産カキを食べる。雁木タクシーにのる。	
カキ、しじみを食べる。	
無秩序な都市開発をなくす。広葉樹の植林を行なう。家庭からの意識改革。	

Q3 広島湾再生の実現に向けて 広島湾再生の実現に向けて、あなたならどのような形で関わっていききたいと思われませんか。	
(D)日常生活のつづき	直接的な関わりは持ってませんが、常に意識をもって、自分なりに関わることが出来たときに参加していきたい。
	具体的にパツと思いつきませんが、何らかの形で関わっていければと思います。
	身近で影響保全にできることから協力してゆきたい(どのように協力していけばよいか具体的検討はわからない)
	個人が、一人一人、マナーを守らなければ、おのずと広島湾は、再生すると思う。
	産官学の連携
	海へ遊びに行く。お人好しの海を汚さない。
E)行政としての取組み	行政に携わるものとして、市民の協力を得ながら、海だけを見るのではなく、川、山の環境改善を行っていききたいと考えている。
	下水道を担当する行政マンとしてかかわっている。
	私は、よく魚釣りに行き、心体共に海から恵みを得ている。その海にゴミがないよう努めると共に、下水道課という立場でもあることから、その普及促進に力を入れたい。
	大田川への負荷を減らすことに努力したい。
	下水道の関係者として、負荷量の削減に寄与したい。
	下水計画に関わっているので今後、合流下水道の改善や高度処理施設も持つ浄化センターの実現化、コスト面だけでなく、環境面からのアプローチも大切にしていききたいと思う。
	下水道による水質保全(自治体)高度処理、合流式下水道の改善、高度消毒技術対策(オゾン、紫外線)下水道事業(生活排水対策)の促進
	海浜ゴミの調査
F)その他	自分は、行政職であるため、下水道の整備の推進等ハード整備で関わっていくのではないかと思う。
	問題点、悪い点の改善、「こうなってほしい」とのニーズに対し、少しでも役に立てればよいと思う。
	みまっておきます
	悪化原因だ。そのメカニズムを受けて対応したい
	分からない、多分その機会はないと思われる。
	広島湾再生推進会議に賛同したいと思います。
	「再生」という到達点はどこなのか、修復また共生は重要であると思う。漁獲量の減少は水質等環境の悪化により、乱獲等漁業の工夫のなさに起用していると思われる。広島湾が干潟だらけになるのもいいとは思えない。
	湾再生のための啓発の協力、地元の漁業組合や行政への働きかけ。あらゆるプロジェクトの実現にむけての具体的な提案やプランニングに向けての協力などできると思いますのでそういう形で関わっていききたいと思います。
	建設業者でありむしろ海を汚してきた。と同時に官側も自然を守る配慮をしてくれなかった事もある。
	要望。大芝水門を開いて頂きたい。他に支障がないかぎり。
	市民の声はいつも企業より弱く行政よりも弱い。強い立場に戻してきちんと話ができる立場があれば関わってもいい。
	行政施策と一体となって関わっていききたい。
私は山口県人なので、広島湾の事例を参考に山口の再生へ携わっていききたい。瀬戸内海は横断的、平面的につながっている。(三次元的に)	

Q4.その他 最後に、このシンポジウムについてのご感想、ご意見をご記入ください。		
a) シンポジウムの 全般的な話につ いて	感想	水産系の方が、見られなかった事は、片手落。広島湾は、水産抜きに話を進めることが出来ないと思う。又、森の機能(太田川上流)や河川の流量などに課題が残っている。
		研究している先生方の話も大切であるが、実働的に動ける話が聞けないのが、残念な点である。調査費に大きな金額をかけてやったりするより、なぜ、ボランティアを大切に出来ないのか？今日の講座内容は、資料はいくつでもあり、時間の無駄だ！どうすればいかに小さいことでも国民がすればいいのかに時間をかけたい。三菱・マツダ、その他工場排水をこっそり採集してみましょう。汚れや物が、出していますよ。けしからん。
		大変有意義であった。
		勉強になった。
		シンポジウムを踏まえて問題認識を深めていく事は重要。
		老若男女、もっといろいろな人が参加したほうが、良いと思う。
		2～3年に一度位、タイムリーに開催。
		現況の広島湾の状況に危機感をもった。ただ、広島湾周辺に暮らす方々が、どの位認識を持っているのかという事に疑問をもった。今後も草の根レベルの活動を期待している。
		よい情報、知識の収集ができた。
		非常に興味深いテーマをそれぞれの立場からの意見を聞くことができ、大変参考になった。
		当たり前のことを考え直す機会となり有意義であった。
		まあまあだった。
		広島湾再生プロジェクトで行うべきことの焦点がある程度見えるような良いシンポであった。
		広島湾に関するPRの機会に始めて接した。海は森と川の影響があることを改めて認識いたしました。
		来年も期待したい。
		大変有意義だった。
		大変参考になった。
		学産管民ネットワークで面を作り、海、川、山を再生して欲しい。アプローチによい会であった。
		シンポジウムの内容が一人でも多くの住民に認知、理解されることを願います。
		大いに参考になりました。
		今後の広島湾のありかたについて参考になった。
		たいへんよかった。特にNPO・NGOの方の発言により、これからの海環境の改善への道筋が見えると思う。
		会場内でのシンポジウムは大きな役割は期待できない。
		とても有意義であった。
		シンポジウムの話が実現できればいいなと思います。
	とても内容が多様であり、休日であったら、もっと違う層が参加できると思った。	
非常によかった。年に3回位実施するとよい。		
文化的にとらえることは意義深い。価値を明示、調査する。情報を共有することで大変意義深い。また盛大なシンポでうらやましいです。		
とても良い。		
研究を進めて、地域にあった事業の提案と同時に国からの経済的支援が必要であると思いますので、このようなシンポジウムを開催して欲しいと思います。		
とても良かった。大江戸日本橋の上の首都高を無くせと言う人がいるガンバレ！！		
どんどんやれば良い。		
提言・提案	人工的に海水浴場又は、水辺(海面)の利用空間などの社会資本整備等を行政や民間が主体性を持ち、考える必要がある。それによって自然の重要性を感じる事が出来るのではないかと思います。	
	広島湾の現状がわかった。以前の状況が、作られたら良いと思います。(子供に海の重要性を引継ぐことが重要だと思う)原因を全て知る必要がある。	

Q4.その他 最後に、このシンポジウムについてのご感想、ご意見をご記入ください。		
(「a)シンポジウムの全般的な話について、のつづき)	(「提言・提案次項)	生態系にどのように影響しているのか、複雑であり、簡易に説明する必要があると感じた。原因と維持の広島湾版の整理が必要。
		有意義なので、継続してはどうかと思います。
		多く参加、継続が必要である。
	要望	広島湾再生に向けて、これからも広く継続的にアピールしていきましょう。「県民なら誰でも知っている」というくらい普及して、みなさんの自覚が芽生えれば良いなと思いました。
		市民への啓蒙と、具体的環境指導を周知させ地域住民参加の活動を盛り上げる。そのためシンポジウムの回数を増やして欲しい。
		市町村、県、国又民間各々のエゴをなくして、対策を望む。特に票を目標に述べる方々に問題あり、その点、今回のシンポジウムには出席者無し、大変良いと思う。
		今後もこのように広報活動を行って、一般市民への理解を集めて欲しい。
		広く一般市民に対するアピールを考えると土日の開催にするほうがよいのではないか。議事内容等HP等で公開して欲しい。
		今回のようなシンポジウムは定期的を実施してください。出来る限り参加したいと思います。
		再々実施されんことをお願いします。
今後も、色々な角度から見た広島湾の状態を教えてください。(例えば、漁業関係者、釣りに関わる人たちなど)		
もっとやってほしい。		
b)シンポジウム内容(講演・パネルD)について	感想	広島湾の現状が、よく分かった。たいへん有意義なシンポジウムでした。
		幅広い視点での内容あり、勉強になった。
		実態がよく分かりました。
		広島湾の再生には、良くも悪くもカキ養殖が大きなキーワードとなる感じがした。パネルディスカッションでは、マスコミの人の意見で、多少かきまぜられたような感じがしたが、あのような視点がとても大事である気がした。
		環境基準(達成)とは、何か、水質は良いのに基準が厳しいから達成されているのか？総量規制もそうだが、守る達成することにより、何がどのようによくなる数値なのでしょう。広島湾の現状把握について、調査・情報収集により、整理されていると思います。再生の実現に向けた目標及び、課題がまだ明確になっていないと感じた。
		広島湾の現状について知識が深まった。
		広島湾の現状を把握する上で、非常に参考になりました。今後、多方面の人、機関が連携して、広島湾再生に向けた取組みを行っていく必要であると感じた。
		岡田先生の講演は、大変分かりやすく、大いに勉強になった。今後もリーダーとして、会議を引っ張っていただきたい。パネルディスカッションは、個々が長すぎる。
		いろんな意見がでて、大変参考になった。
		川と海が密に関係していることがよくわかった。
		人の理解を得る、方策への理解を深めるのに重要であり、意味がある。ノロウイルス対策についての話がなかった。人を中心に置いた技術開発連携が重要。
		色々な取り組みや組織があることを初めて知った。狭い組織や地域で水質浄化、底質改善を考えてきたが、何かヒントになるものがあるのではないかと期待が持てる気がする。
		パネリストの皆さんの取り組みはそれぞれに敬服するところもあるが、悪く言えばそうして「机上の空論」的であり、ムダ金を使った「ままごと」である。また広島湾再生に向けて抽象論ばかりで具体的な例が聞けなかったので残念である。
		湾再生は数年前にもご縁がありお話をうかがったことがありますが、ここで改めてより深いいろんなことをいろんな立場での説明により勉強し知ることにより自分なりに何が出来るか考え協力していきたいと思います。
		貴重な意見を聞け有意義でした。
		広島湾での現状と課題を再整理でき有意義であった。
		行政側の方にパネリストとして、発表があり今後が見えてきた。
		それぞれの専門知識を持たれたパネラーによるディスカッションでしたが、一つの協力体制をとることにより、広島湾再生という目標に対しての意見が聞けたと思いました。
		雁木タクシーを詳しく知ることが出来、とても素晴らしいことをされていると感じました。必ず利用してみたいと思います。想像していた以上に広島湾の汚染が進んでいることに愕然としましたが少しでもきれいな海に戻る様協力できることを探していきたいと思います。
		各関係者の研究していること大いに参考になりました。
広島湾の現状についての講演が始めにあったのでよかった。		

Q4.その他 最後に、このシンポジウムについてのご感想、ご意見をご記入ください。		
(b)シンポジウム 内容(講演・パネルD) について(のつづき)	(「感想」のつづき)	広島湾の水質環境の現状と特徴がよく理解できました。
		今回は上嶋先生の技術の話、氏原さんのタクシーの話に注目した。
		あいにくの雨天にもかかわらず、多くの人が関心をもって来場していた。広島湾について、いろいろなニュースになっているが、学問的にいろいろな話が聞けて、有効だった。
		雁木タクシーの潮位等を携帯で、知らせる工夫は面白かった。良い取り組みだと思う。
		昔と比べ、海で遊ばなくなった。山本先生の話ではないが、私の子どもの頃の広島湾と今の広島湾について考える機会となりました。
		雁木組の活動内容は、今日初めて聞いたのでためになった。
	話題が多岐にわたり焦点がぼやけているように思う。	
	要望	基調講演の印刷物があればよかった。
		パネリストの皆様は活動報告上嶋先生の尼崎等での複合的な取組み、又、地域の人らの活動など興味深い。浮体藻場造成の造成後がきになった。氏原様の雁木タクシーについて水上タクシーのみならず、文化面、社会面での活動など、実際の人々の営みに窓暫した取組み、非常におもしろかった。これからの活動内容を知ることができ、とても有意義であった。もう少しパネルディスカッションをしてほしかった。
		広島湾、瀬戸内海の現状が、よく分かった。再生の為の研究などよくされていると思う。願くば、行政でもっと頑張ってもらいたい。
漁業者代表の意見も聞きたかった。		
c) 広島湾再生計画 について	感想	一般住民への周知が不足しているのではないかな？
		お金を掛ければ、海は再生(きれい)になる。資金は、どうするのか。
		学問的なことはよく分かりませんが、海岸に漂着するゴミが、少なくなるようにしなければ、北部地域は良くならないと思う。海に従事する人の意識改革しないと学問的にいくら研究しても絵に描いたモチになる恐れがある。
		現状についてはよく理解させて頂きました。ただ、未だ具体的目標が定まっていないというのには驚きました。確かに一朝一夕に解決できる問題ではないと思いますが…。
		テーマ内容がよかった。
		再生に向け連携をどう具体化するかが最大の課題と思われ、大いに期待します。
		市民・県民への啓蒙を推める。里海の活動を評価したい。積み重ねの努力に敬意を。
		継続して行く事、各界と連携して行く事。
	環境再生には、産・官・学・民と連携の必要を感じた。	
	提言・提案	行動計画「何をすべきか」の結論を早く出すべきだと思う。また、どこが責任をもって、行動(詳細計画・予算措置・実施・結果まとめ等)するのか明確にしておくべきだと思う。
残念ながら最近海との関わりが少なくなってきました。年代的な理由が最大の原因です。子供たちの関わりと比例していたと思います。35年前(1970)の状況へ戻すための皆様方の具体策を聞かせていただくために参加いたしました。現状の原因を把握して下水道事業が進められているものと思います。思い切って閉鎖性水域の堆積物を全処理するなど物理的にリセットしてはいかがでしょうか？		
要望	海水浴・潮干狩りが出来て、親しみ易い広島湾にしてもらいたい。今日は、代替材(はいびーす?)の話があったと思うが、改善に向けて更に研究を進めて行ってもらいたい。先生方の現状分析・研究には、感心いたしました。何とかこの研究で良い広島湾にしてもらいたい。	
	湾再生に向けての課題(現状)をもっと市民に広く周知してほしい。漁業関係者(特にカキ養殖業)の認識が不足で島嶼部の住民の意識が低い。生ゴミを平気で捨てている。海岸に流れつくゴミでは、カキ養殖関連のゴミが特に多い。採石事業の禁止→土砂流出による藻等の消失 釣りえさに問題あり。(オキアミ)	
	すばらしい広島湾の再生に向けて、今後も何らかの形で意見集約の場として開催して欲しい。海は、生命の誕生の場ですが、大事にしようということは将来性があると感じる。	
	企業にも法規制のみならず根本的指導への取り組みを！！ 海の再生に向けて、もっと情報発信をしてもらいたい。	
d) その他	感想	海をきれいにするには、官・民・産が一体とならないと難しい。単に下水道の整備だけでは、海の底はきれいにならないと思う。
		同種の団体が私が知るところ3つあります。それらとの整合性を行なわなければ、利権がらみの基となりはしまいかと不安を抱いている。
	提言・提案	小学生を含め海に親しむイベントを行なうことにより、河、海の大切さを認識させる。小学生に同伴する大人も参加。(大人だけのイベントでは無理)
理想は、誰もが持っていると思います。しかし、現実的にこのような事業を行うためには、お金が必要です。この予算をどのように捻出するのか。今度のシンポジウムで、このような予算の活を取り入れてほしい。 行政の理想論ではなく、現実的に具体的に実施可能な参加可能な提案をして欲しい。		